

ビジネスデータ分析		講義	教授 岡野 武志	
科目カテゴリー	国際ビジネスコースの専門 選択科目 会計ファイナンスコースの 専門選択科目 経営・経済コースの選択必 修科目	科目ナンバリング	23221208	

1. 授業のねらい・概要

近年、社会や経済に関わるデータの増加は著しく、社会経済動向の分析やビジネスにおける意思決定において、データサイエンスの位置づけは急速に高まっている。この授業科目は、経済や経営等に関わるさまざまなデータを取り扱い、ビジネス分野においてデータを活用するための基礎力を身につけることを目的とする。なお、この科目を受講するにあたっては、「経営管理総論A」及び「経営管理総論B」を履修しておくことが望ましい。

2. 授業の進め方

各回の授業は、統計データやサンプルデータ等を参照しながら経済や経営、統計等に関する事項への理解を深める講義部分と主にエクセルを用いて実際のデータに触れながら考察や分析を行う実践部分で構成される。実践部分には自らエクセルを使用してデータを取り扱う課題が含まれる。

3. 授業計画

1. イントロダクション/ビジネスとデータ	9. 財務データと株式価値
2. データの見える化（グラフ化）	10. 財務データと株価変動
3. 見える化のデザインと考察	11. 確率分布と推定・検定
4. マクロ経済と経済統計	12. リスク・リターン分析
5. 経済統計と株価	13. 投資とポートフォリオ
6. 金利・景気・通貨	14. データと予測
7. 国際収支と為替レート	15. 総括/データとビジネス
8. 財務情報と経営指標	

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

事前に提供または指定された資料を予習し、授業終了後には復習（指定された課題を含む）に取り組むこと。これらの予習・復習等には、それぞれ2時間以上を要する。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

課題の趣旨や方法、期末課題等については授業内で説明する。

6. 授業における学修の到達目標

経済や経営、統計の基本的な概念を理解し、データを活用して分析や考察ができる。

7. 成績評価の方法・基準

授業への取り組み姿勢（課題等への評価を含む）60%、期末課題の成果40%によって評価する。

8. テキスト・参考文献

授業で使用する資料やデータは、授業内または授業の前後で提供する。

9. 受講上の留意事項

新聞やニュースなどを通じて日頃から社会や経済に関する情報に関心を持つこと。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当する。この授業は金融機関およびシンクタンク等における実務経験を活かして指導する。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。